

「静」けさを通じて、構造は立ち現れる。



和の創造は、「静」の本質から。

私共が追い求めるのは、決して無音という絶対的な静寂ではなく、

「静」の本質を研ぎ澄ますことで、空間に秩序をもたらし、
人と調和のとれた共鳴を生み出すことです。

ミニマリストの美学は、性能の簡素化を意味するのではなく、
高い品質、優れた強度、良好な遮音性といった特性に対する、
高度な自律の精神の表れです。

控えめで抑制のきいた外観の内側で、

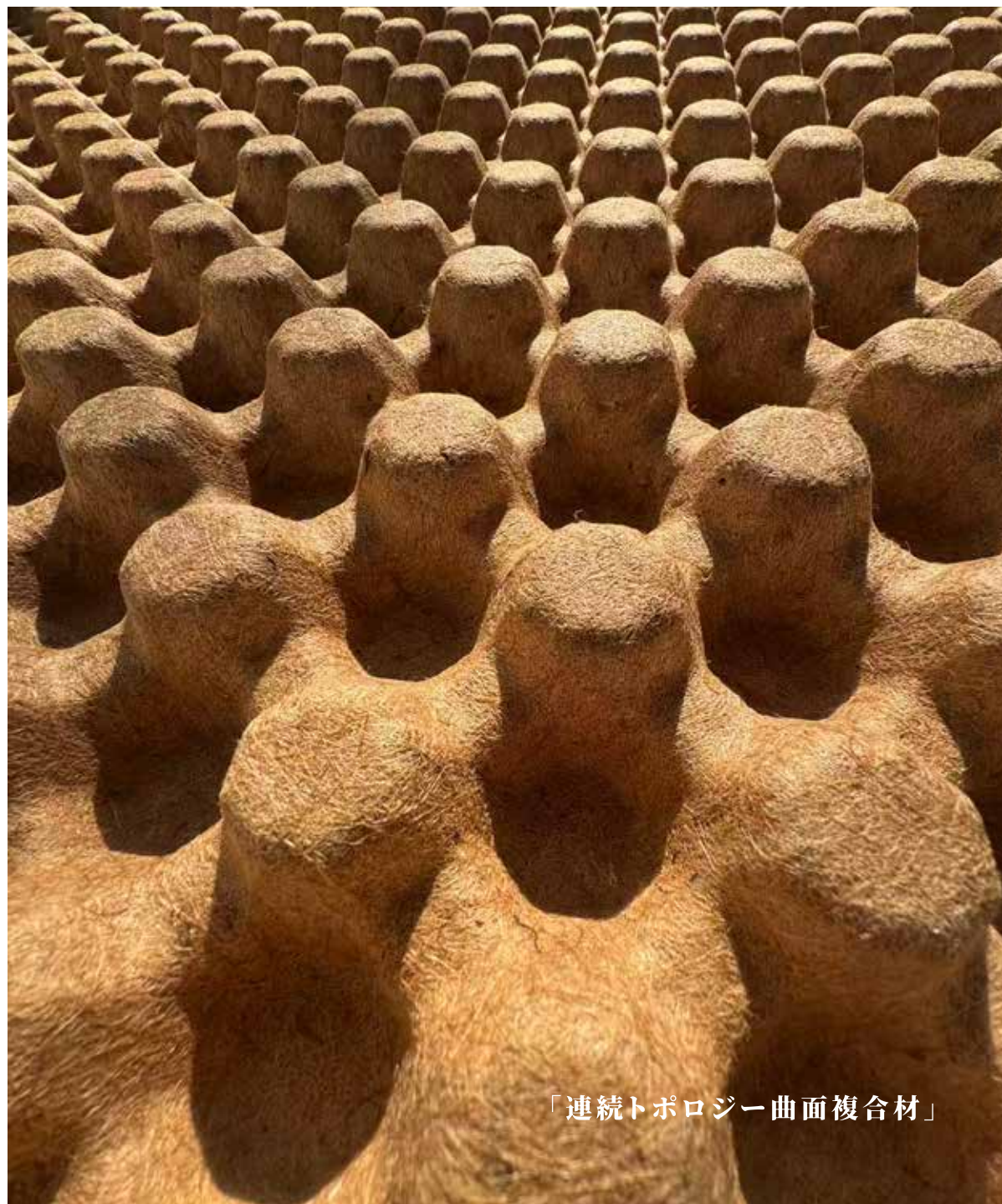
天然繊維のコア材は、慎ましやかに存在感を示し、
構造、比例、光と影と見事に調和しながら、
想像を超える可能性を解き放ちます。

それは、低コントラストで静謐な色彩の世界を創り出し、
決して騒がず、しかし、その存在感は長く持続します。

素材が内包する本質の魅力を存分に引き出すことで、
私共は空間に品格と、広がりを感じるゆとりを与えます。

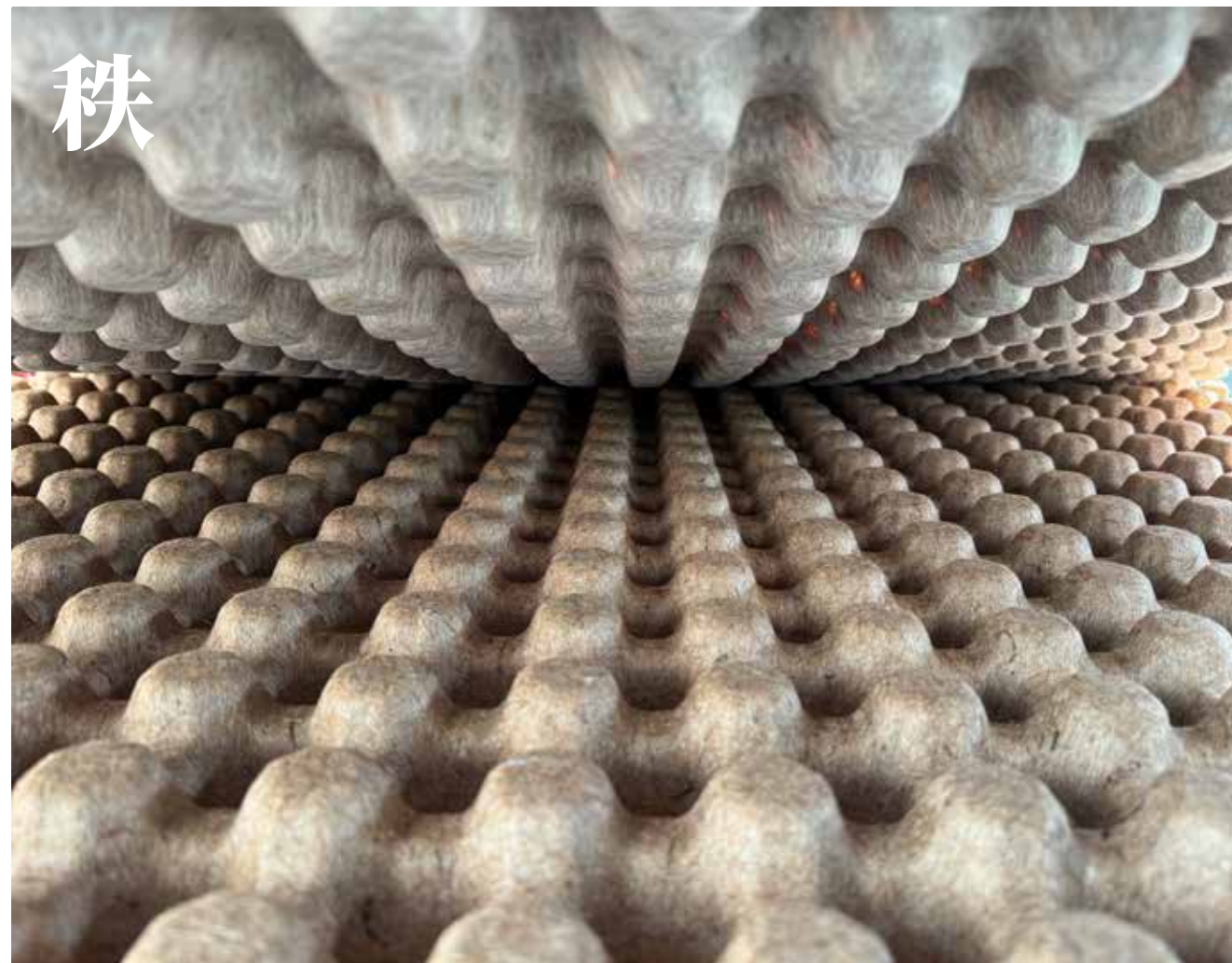
入念に研究開発された原料の選択は、技術を誇示するためではなく、
優雅な余韻と、時代の審美眼に耐えうる余裕を残すためです。

これこそが、内部材料へのこだわり。



「連続トポロジー曲面複合材」

序



秩



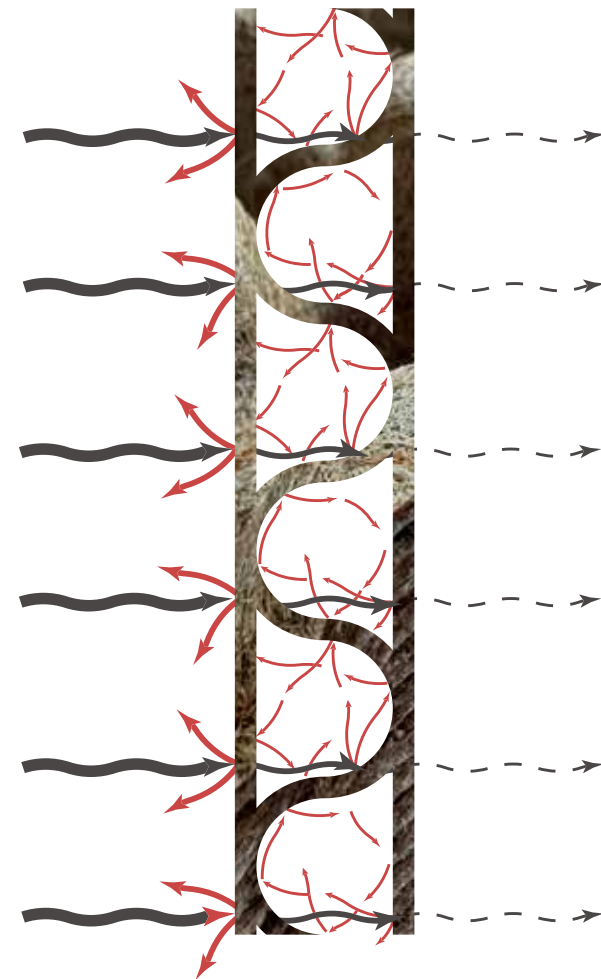
遮音とは厚みではなく、構造である。音は繊維構造
の中で分散・吸収され、やがて静け
さへと変換される。

自然繊維の構造ロジック

自然繊維を三次元的に組み上げることで、

内部応力が自らバランスする構造を形成しています。

$$F(x,y,z) = z - A \left[\cos \left(\frac{2\pi x}{T} \right) + \cos \left(\frac{2\pi y}{T} \right) \right] \times \text{Smoothing Parameter}$$



音は一度で止めるのではありません。
構造の中で分散され、吸収され、

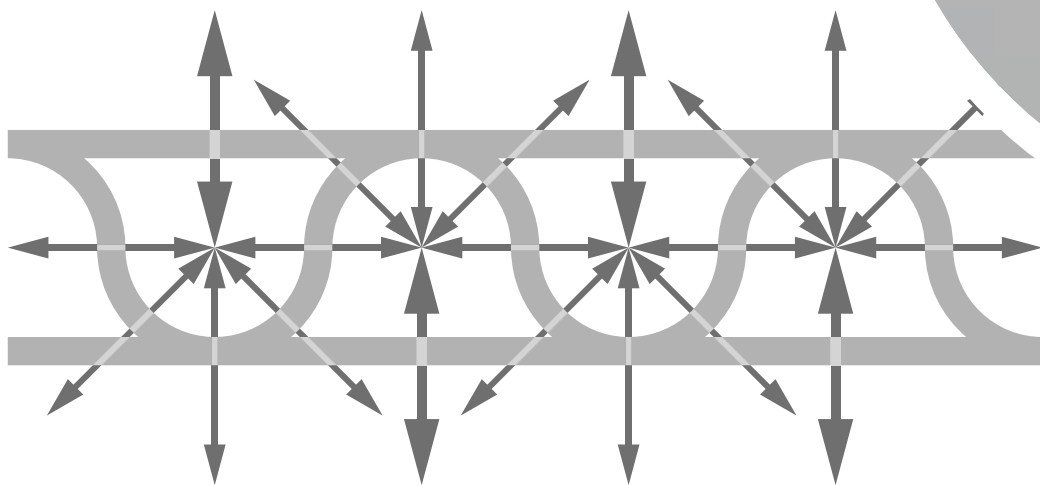
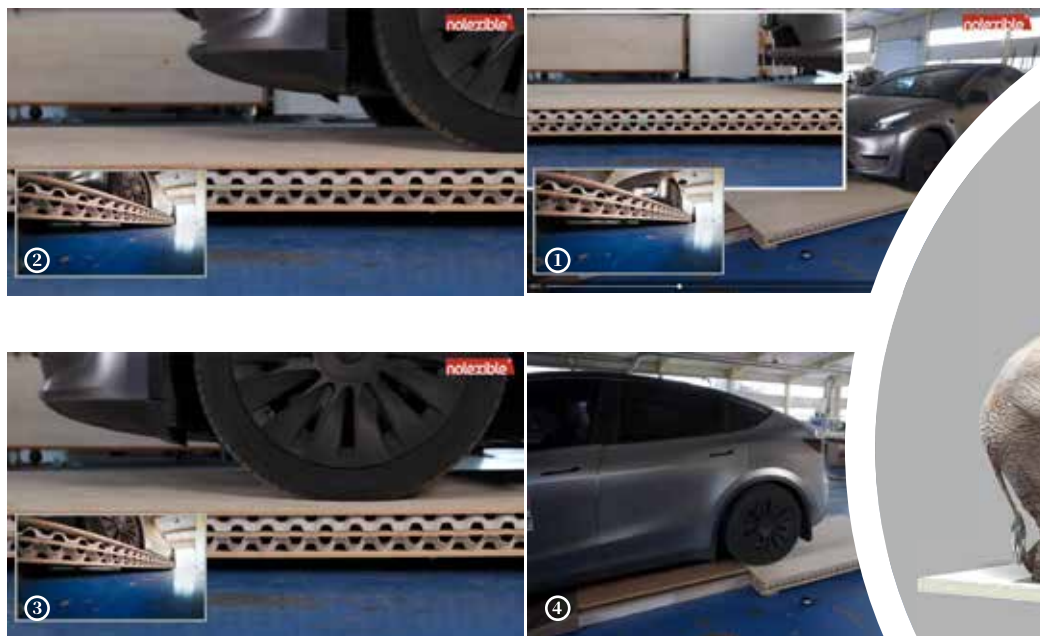
静

粛

声波 → 分散 → 吸収 → 静
全帯域にわたる優れた吸音性能

鉄骨を必要としない、4〜6メートルの超高木製ドア。
外部フレームではなく、内部構造
によって安定性を確保する。

品 格



「連続トポロジー曲面複合材」の応力分布図



本製品は「ドア」という完成品ではなく、空間内部に用いられる構造材料の選択肢である。



本製品は「ドア」という完成品ではなく、空間内部に用いられる構造材料の選択肢である。



本製品は「ドア」という完成品ではなく、空間内部に用いられる構造材料の選択肢である。

